

2015年3月12日

報道機関各位

2015年 シニア層の国内宿泊旅行に関する意識調査

首都圏の8割以上が、北陸新幹線を利用する旅行を希望 人気の観光地は北海道、温泉地は由布院

三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンクである三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（本社：東京都港区 社長：藤井秀延）と楽天株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼社長 三木谷浩史）は、共同調査として「2015年 シニア層の国内宿泊旅行に関する意識調査」を実施しました。今回の調査は、2015年2月5日～7日の3日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）、東海圏（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）、関西圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県）の3地域在住の60代～70代の男女1,800人（各地域600人、男女均等、過去1年間に宿泊旅行を経験している人）を対象に行いました。

【調査結果概要】

- ◆年間の宿泊旅行日数は、3～4日が最も多く、6日以内が約6割。1泊旅行も2泊旅行も年1回が約3割
- ◆昨年の旅行実態と比べての今年の旅行意向は「増える」が17.0%に対し、「減る」が11.4%と、増加に期待
- ◆旅行時期で最も多いのが10・11月、平日の旅行が65.0%、1回あたり宿泊旅行の費用は2～4万円
- ◆旅行相手は、夫婦が最も多く、次いで友人・グループ。女性70代は友人・グループが約半数
- ◆旅行目的は、保養、娯楽、食事がトップ3。トップの保養では首都圏、関西圏の方が東海圏よりも高い率
- ◆行きたい観光旅行のタイプは、温泉、寺・神社・勝景地等の訪問、ご当地グルメがトップ3
- ◆旅行の行き先決定に重視する項目は、自然・景色、費用、移動距離・交通がトップ3
- ◆どの地域からも、「行きたい国内旅行先」のトップ5は、北海道、九州、東北、沖縄、北陸
- ◆今年行けそうな国内旅行先は、首都圏では伊豆・箱根、東海圏では東海、関西圏では近畿がトップ
- ◆行きたい温泉地は、由布院（大分県）が3地域ともにトップ。全体では草津が2位、別府が3位
- ◆首都圏の8割以上が北陸新幹線を利用する旅行を希望（全体でも68.3%が希望）
- ◆実際に泊まった宿泊施設も、今後泊まりたい宿泊施設も温泉旅館がトップ
- ◆宿泊の手配は、宿泊予約サイトがトップ、2位が旅行会社の旅行商品をネットで購入
- ◆旅行へのきっかけは、テレビ番組、口コミ、旅行情報ポータルサイトがトップ3
- ◆旅行情報入手先は、旅行ポータルサイト、Webサイト（観光協会など）、テレビ番組がトップ3

詳細は添付資料をご参考ください。

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

観光政策室 田中三文 TEL:052-307-1103
同 妹尾康志 TEL:03-6733-1022

2015年3月12日

政策研究レポート

2015年 シニア層の国内宿泊旅行に関する意識調査

首都圏の8割以上が、北陸新幹線を利用する旅行を希望 人気の観光地は北海道、温泉地は由布院

観光政策室 室長 田中三文、主任研究員 妹尾康志

三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンクである三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（本社：東京都港区 社長：藤井秀延）と楽天株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼社長：三木谷浩史）は、共同調査として「2015年 シニア層の国内宿泊旅行に関する意識調査」を実施しました。今回の調査は、2015年2月5日～7日の3日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）、東海圏（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）、関西圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県）の3地域在住の60代～70代の男女1,800人（各地域600人、男女均等、過去1年間に宿泊旅行を経験している人）を対象に行いました。

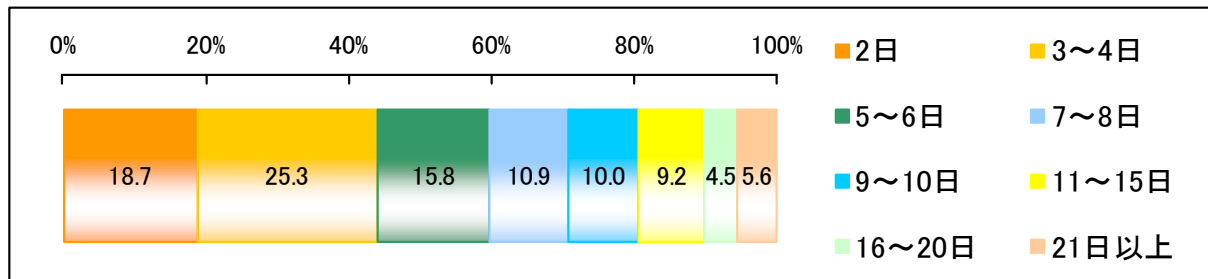
【調査結果概要】

- ◆年間の宿泊旅行日数は、3～4日が最も多く、6日以内が約6割。1泊旅行も2泊旅行も年1回が約3割
- ◆昨年の旅行実態と比べての今年の旅行意向は「増える」が17.0%に対し、「減る」が11.4%と、増加に期待
- ◆旅行時期で最も多いのが10・11月、平日の旅行が65.0%、1回あたり宿泊旅行の費用は2～4万円
- ◆旅行相手は、夫婦が最も多く、次いで友人・グループ。女性70代は友人・グループが約半数
- ◆旅行目的は、保養、娯楽、食事がトップ3。トップの保養では首都圏、関西圏の方が東海圏よりも高い率
- ◆行きたい観光旅行のタイプは、温泉、寺・神社・勝景地等の訪問、ご当地グルメがトップ3
- ◆旅行の行き先決定に重視する項目は、自然・景色、費用、移動距離・交通がトップ3
- ◆どの地域からも、「行きたい国内旅行先」のトップ5は、北海道、九州、東北、沖縄、北陸
- ◆今年行けそうな国内旅行先は、首都圏では伊豆・箱根、東海圏では東海、関西圏では近畿がトップ
- ◆行きたい温泉地は、由布院（大分県）が3地域ともにトップ。全体では草津が2位、別府が3位
- ◆首都圏の8割以上が北陸新幹線を利用する旅行を希望（全体でも68.3%が希望）
- ◆実際に泊まった宿泊施設も、今後泊まりたい宿泊施設も温泉旅館がトップ
- ◆宿泊の手配は、宿泊予約サイトがトップ、2位が旅行会社の旅行商品をネットで購入
- ◆旅行へのきっかけは、テレビ番組、口コミ、旅行情報ポータルサイトがトップ3
- ◆旅行情報入手先は、旅行ポータルサイト、Webサイト（観光協会など）、テレビ番組がトップ3

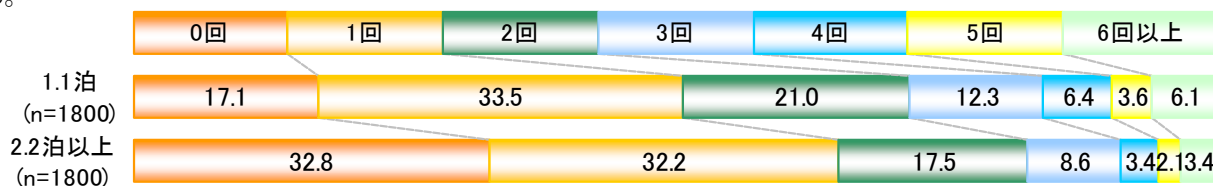
※本調査は、いずれも国内旅行について回答を得たものです。

◆年間の宿泊旅行日数は、3～4日が最も多く、6日以内が約6割。1泊旅行も2泊以上の旅行も年1回が約3割

昨年1年間の宿泊旅行経験の日数(1泊及び2泊以上)について聞いたところ、年間の旅行数については、「3～4日(25.3%)」が最も多く、「2日(18.7%)」、「5～6日(15.8%)」と続き、6日以内で約6割(59.8%)を占める。逆に「11日以上」は合計で約2割(19.3%)あり、多くの日を旅行で楽しんでいる人が多いこともわかった。



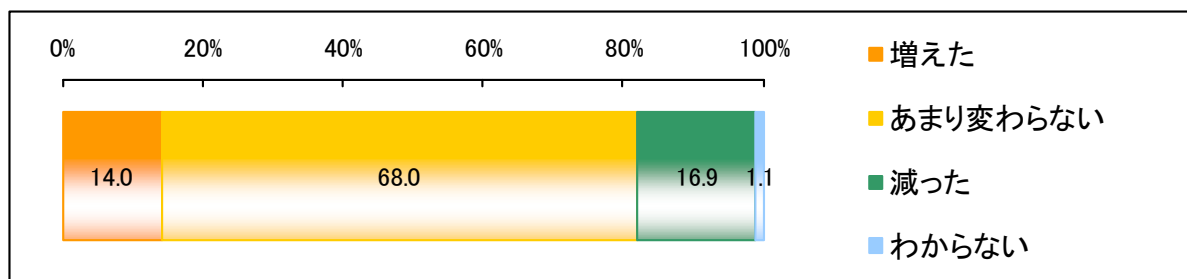
また、1泊旅行の頻度は、「年1回(33.5%)」が最も多く、次いで「年2回(21.0%)」となっており、年2回以内で54.5%と半数以上を占める。2泊以上でも同様に「年1回(32.2%)」、「年2回(17.5%)」で49.7%と約半数を占める。



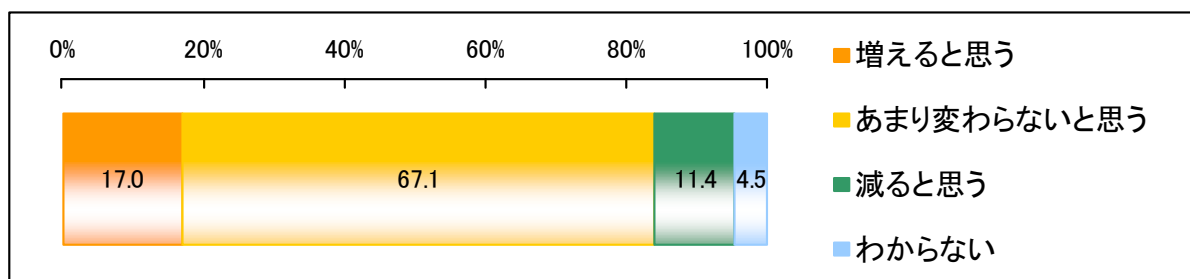
◆昨年と比べての今年の旅行意向は、「増える」が17.0%に対し、「減る」が11.4%と、増加に期待

昨年の旅行実態として、一昨年と比較しての増減については「増えた(14.0%)」、「減った(16.9%)」であったのに対し、昨年と比較して今年の旅行見込みとしては、「増えると思う(17.0%)」、「減ると思う(11.4%)」となっており、今後の旅行増に期待される。

■一昨年(2013年)と比較した昨年(2014年)の旅行実態

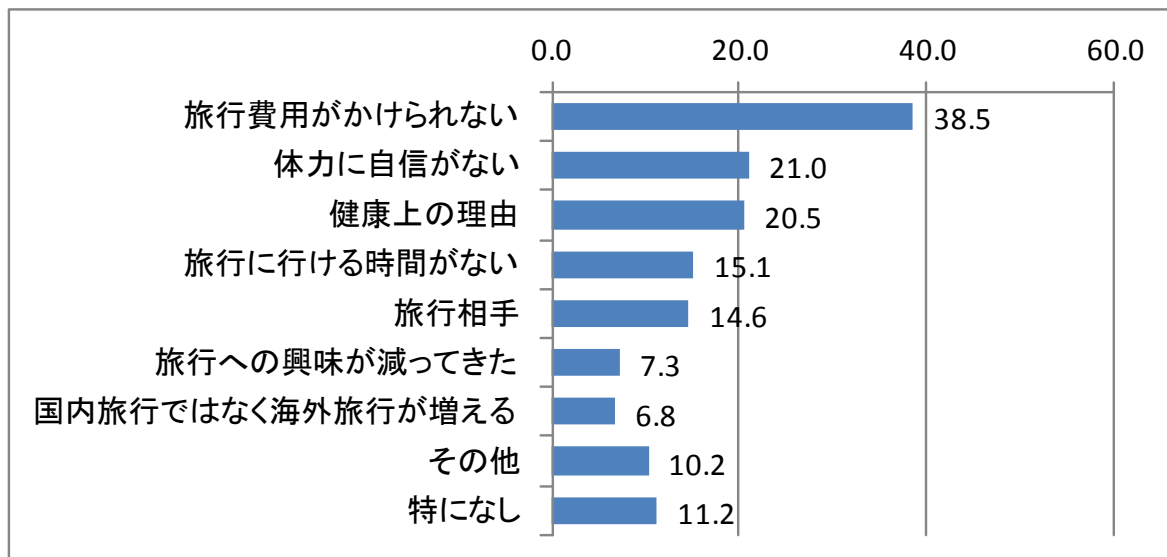


■昨年(2014年)と比較した今年(2015年)の旅行見込み



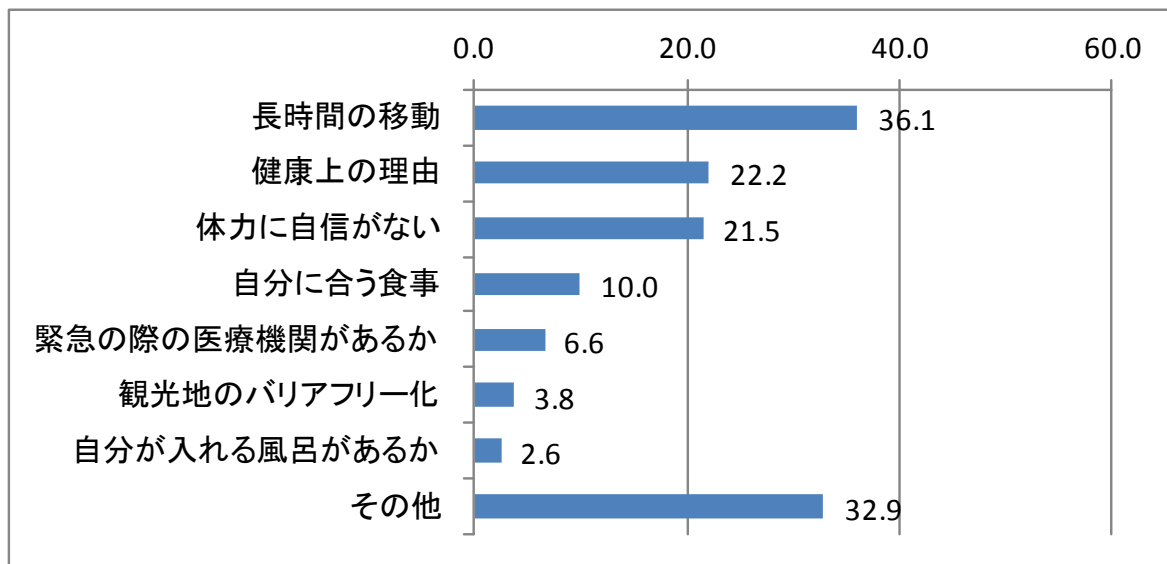
上記回答者のうち、今年、国内宿泊旅行が「減ると思う」と回答した人の理由を聞いたところ、「旅行費用がかからない(38.5%)」が最も多く、以下「体力に自信がない(21.0%)」、「健康上の理由(20.5%)」、「旅行に行ける時間がない(15.1%)」と続いており、「費用」、「体力・健康」、「時間」が旅行機会を減らす要因となっていることがわかる。

■今年、国内宿泊旅行が「減少する」と回答した人の理由



また、全ての回答者に、今後(2~3年後)の国内宿泊旅行における不安要素を聞いたところ、「長時間の移動(36.1%)」、「健康上の理由(22.2%)」、「体力に自信がない(21.5%)」が上位となっている。

■今後、2~3年後、国内宿泊旅行における不安要素

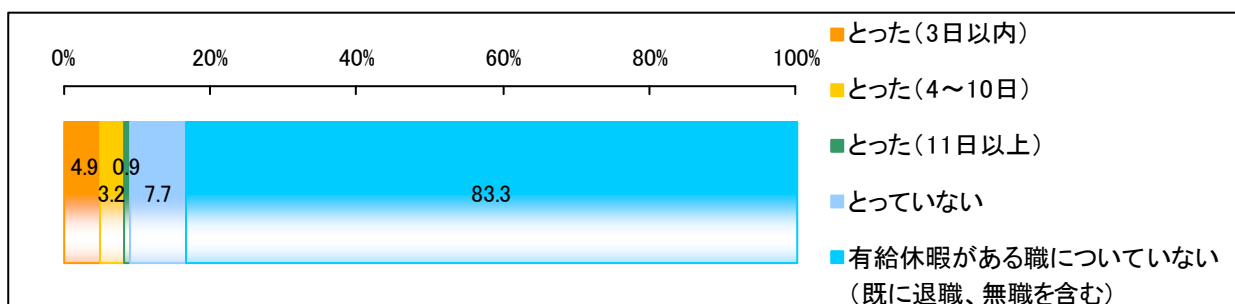


◆有給休暇がある職についている人で有給休暇取得意向のある人の取得可能性は94%

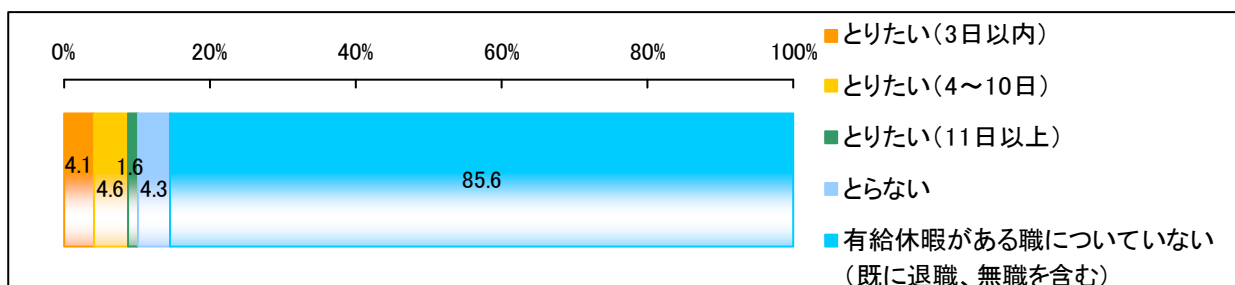
国内宿泊旅行のための有給休暇の取得実態及び取得意向について聞いたところ、シニア層の実態としては、そもそも「有給休暇がある職についていない」と回答した人が83.3%と大半を占めている。有給休暇をとったとする人は全体の9.0%で、そのうち最も多いのが「3日以内(有給休暇をとった人のうち54.4%)」で半数以上を占める。

また、国内宿泊旅行のための有給休暇をとりたいという人もほぼ同じ割合となっている。(有給休暇がある職についていない人が実態よりも増えているのは、この1年に退職等をされる人がいるものと推測される。)それらの有給休暇取得意向者のうち、実現性について聞いたところ「確実にとれる(45.9%)」、「とれると思う(48.1%)」となっており、94.0%の人が取得の可能性を示している。

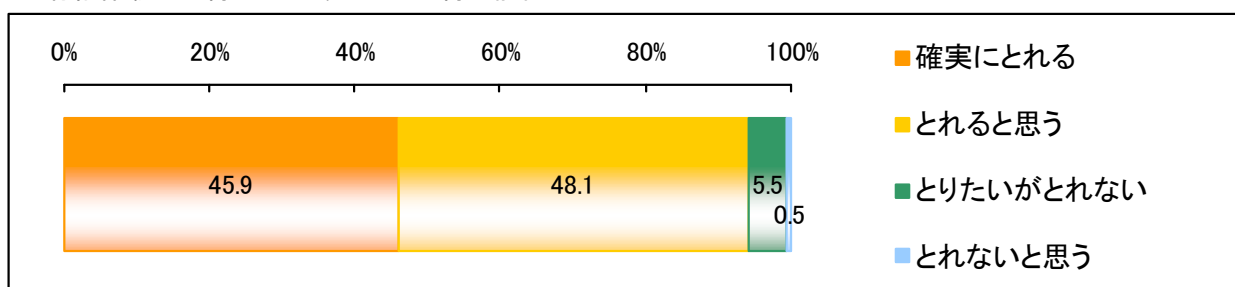
■旅行のための有給休暇の取得実態(2014年)



■旅行のための有給休暇の取得意向



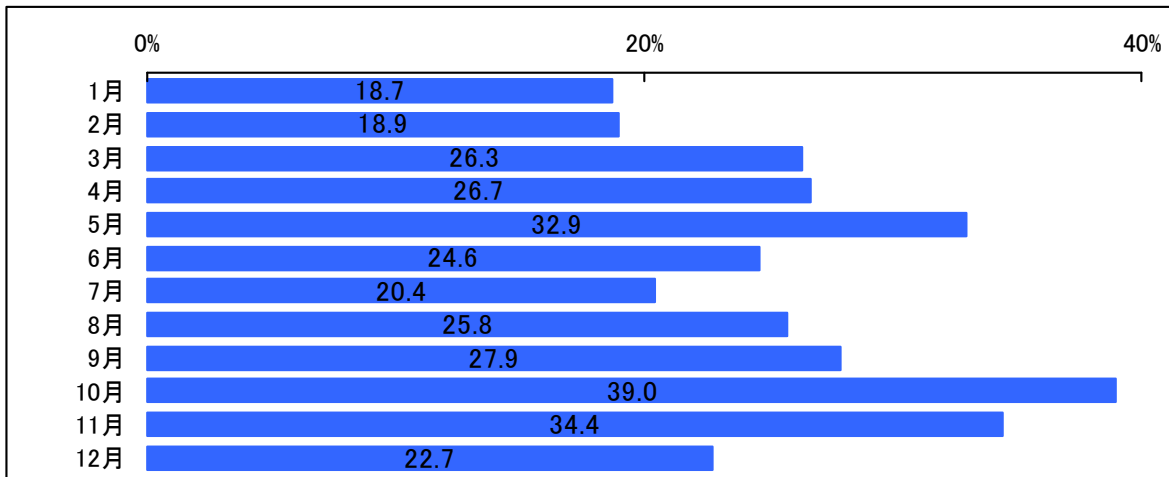
■有給休暇の取得意向がある人の取得可能性



◆旅行時期で最も多いのが10・11月

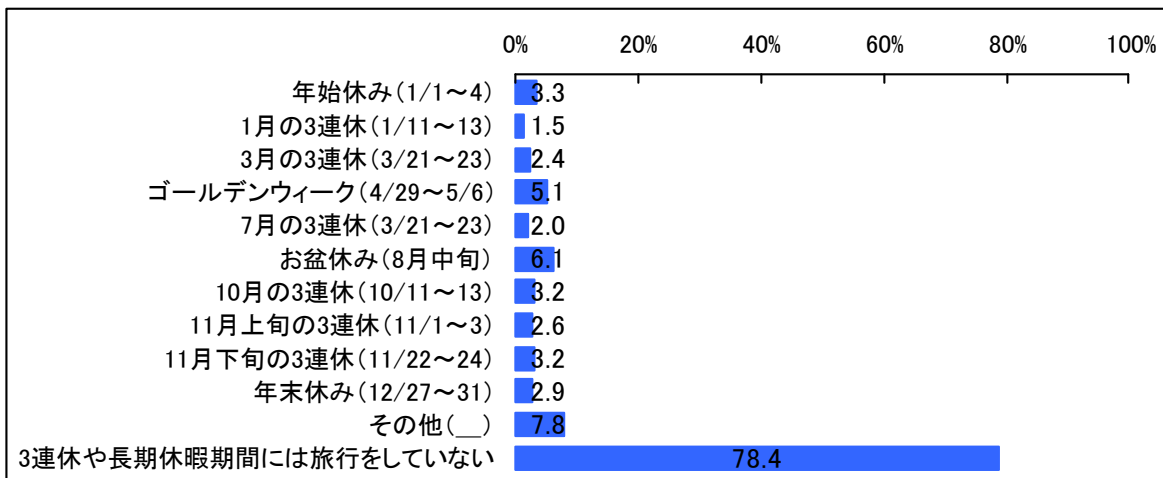
昨年、実際に旅行した時期について聞いたところ、「10月(39.0%)」が最も多く、「11月(34.4%)」、「5月(32.9%)」、「9月(27.9%)」、「4月(26.7%)」と、過ごしやすい気候の秋及び春の旅行が多い。

■昨年(2014年)の旅行の実施月



また、昨年実際に旅行した時期について3連休や年末年始・お盆休み・3連休などにおける旅行実態を聞いたところ、それらの時期に旅行していない人が78.4%と大半を占め、一般的に多い旅行時期はあえてはずして旅行している人が多いことがわかった。

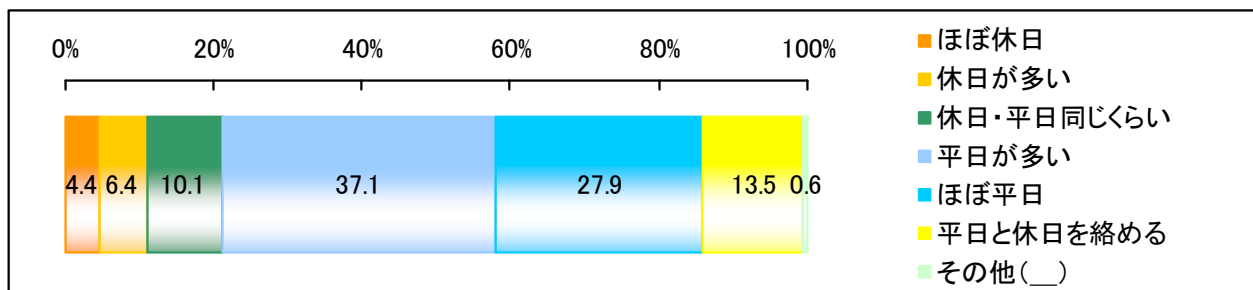
■昨年(2014年)の旅行における年末年始、3連休等の旅行実態



◆旅行をするのは「平日が多い(37.1%)」「ほぼ平日(27.9%)」。混雑回避や『平日割引』をねらった平日志向

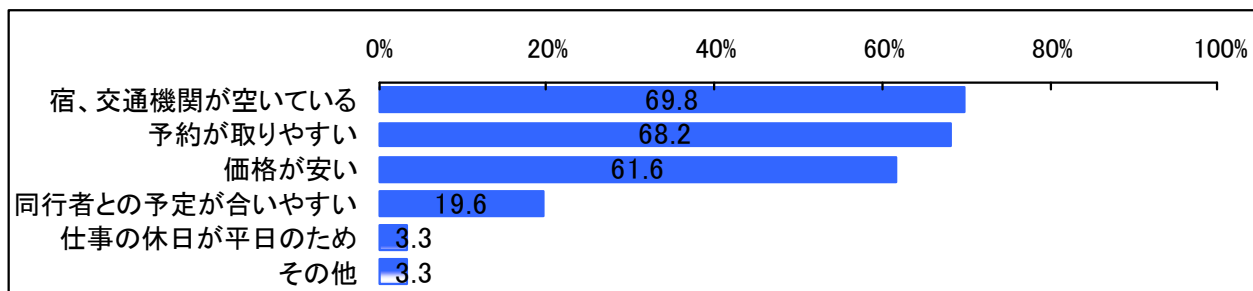
昨年実際に旅行した日について、休日・平日の実態を聞いたところ、「平日が多い(37.1%)」が最も多く、「ほぼ平日(27.9%)」と合わせると65.0%となり、逆に「休日が多い(6.4%)」、「ほぼ休日(4.4%)」を合わせると10.8%となっていることから、圧倒的に平日志向が高いことがわかる。

■昨年(2014年)の旅行の休日・平日実施実態



また、「平日が多い」及び「ほぼ平日」と回答した人の平日利用の理由について聞いたところ、「宿、交通機関が空いている(69.8%)」、「予約がとりやすい(68.2%)」、「価格が安い(61.6%)」となっており、休日と比較した旅行のしやすさがあげられている。

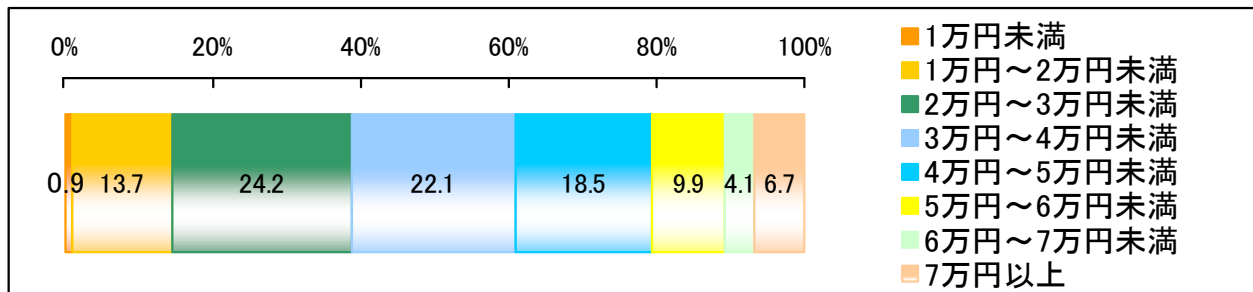
■平日に旅行する理由



◆1回あたり国内宿泊旅行の費用は2~4万円

1回あたりの国内宿泊旅行の費用について聞いたところ、「2万円~3万円未満(24.2%)」、「3万円~4万円未満(22.1%)」で46.3%となっており、概ね2~4万円あたりが平均的な費用となっている。

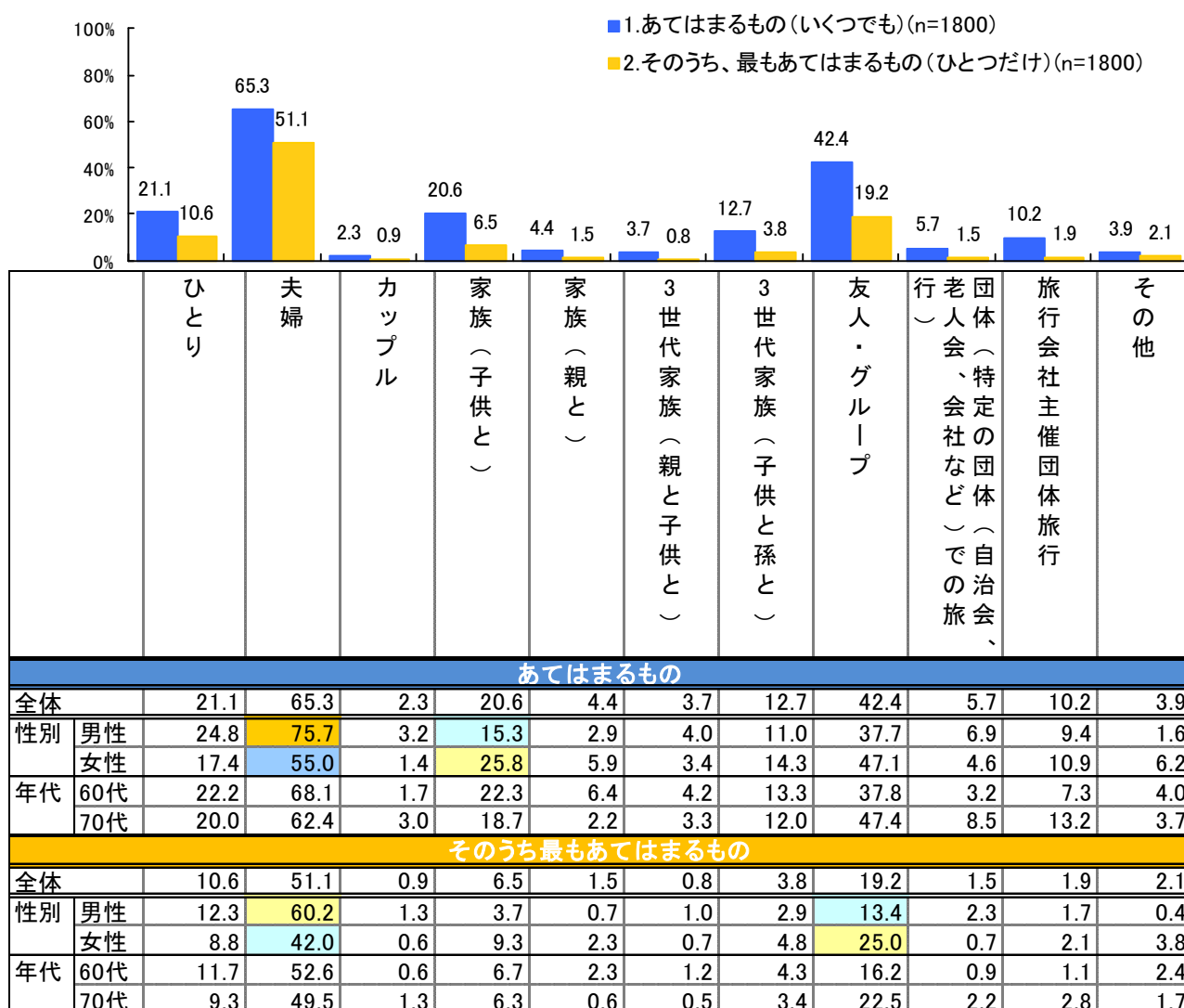
■1回あたりの国内宿泊旅行費用



◆旅行相手は、夫婦が最も多く、次いで友人・グループ。女性70代は「友人・グループ」が約半数

国内宿泊旅行における旅行相手について聞いたところ、「夫婦(65.3%)」、「友人・グループ(42.4%)」が大半を占める。それらのなかでも最もあてはまるものをひとつだけ聞いたところ、「夫婦(51.1%)」が約半数となっている。性別の比較では、男性における「夫婦」が女性よりも20.7ポイント高いのに対し、女性における「友人・グループ」が男性よりも9.4ポイント、「家族(子供と)」が10.5ポイント高いのが特徴となっている。また年代別(60代・70代)の比較では、60代において「夫婦」が70代よりも5.7ポイント高いのに対し、70代における「友人・グループ」が60代よりも9.6ポイント高くなっているのが特徴となっている。

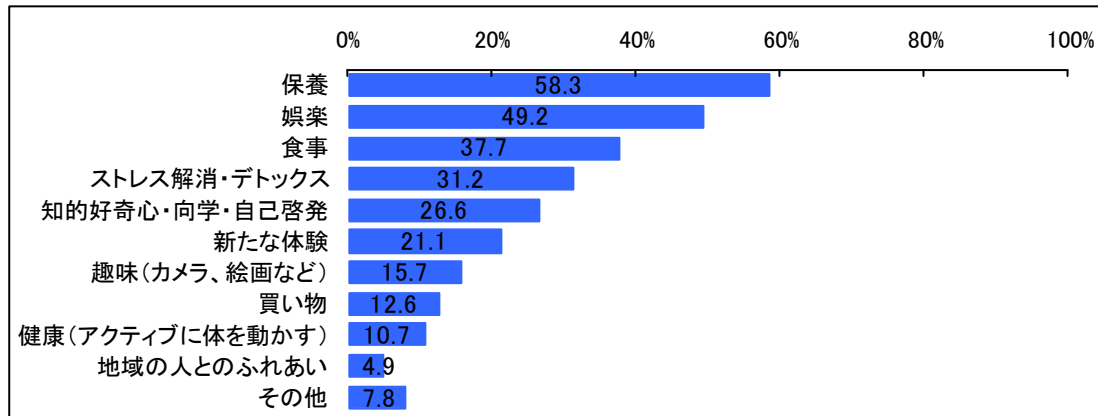
■国内宿泊旅行の旅行相手



◆旅行目的は、保養、娯楽、食事がトップ3。トップの保養では首都圏、関西圏の方が東海圏よりも高い率

国内宿泊旅行における旅行目的について聞いたところ、「保養(58.3%)」が最も多く、「娯楽(49.2%)」、「食事(37.7%)」と続く。また、性別の比較では、少数ではあるが男性における「趣味」が女性よりも9.1ポイント高いのに対し、女性における「ストレス解消・デトックス」が9.2ポイント、「買い物」が6.4ポイント男性よりも高いのが特徴となっている。

■国内宿泊旅行の旅行目的



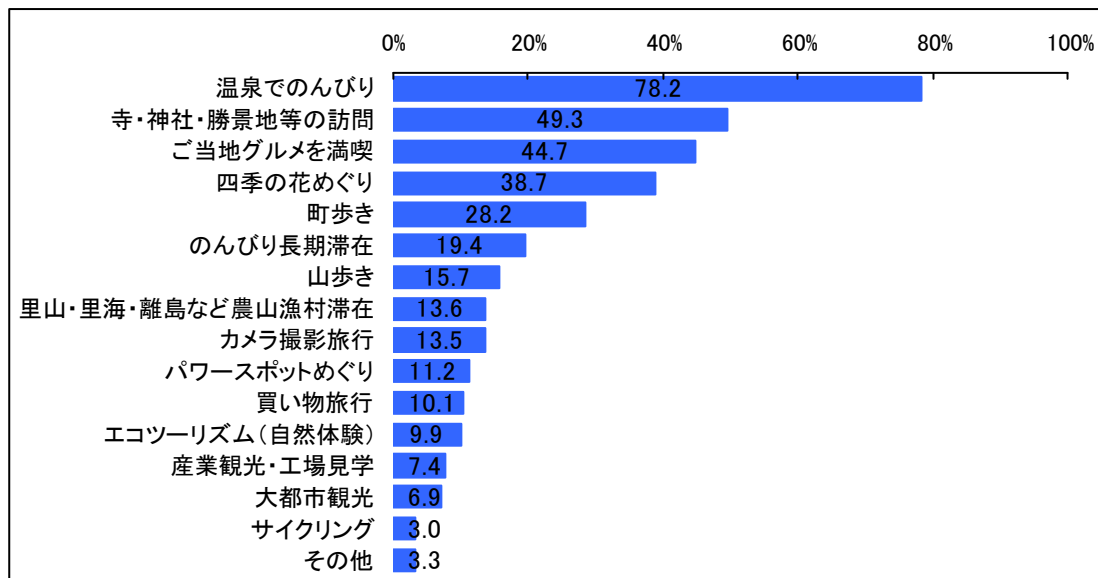
	娯楽	保養	ク ス ス ト レ ス 解 消 ・ デ ト ッ	食 事	新 た な 体 験	を 健 康 (ア ク テ ィ ブ に 体	己 知 的 好 奇 心 ・ 向 学 ・ 自	ど 趣 味 (カ メ ラ 、 絵 画 な	買 い 物	地 域 の 人 と の ふ れ あ い	そ の 他
全体	49.2	58.3	31.2	37.7	21.1	10.7	26.6	15.7	12.6	4.9	7.8
性別											
男性	49.2	58.1	26.6	37.4	23.0	11.0	25.9	20.2	9.4	5.6	8.2
女性	49.1	58.4	35.8	37.9	19.2	10.3	27.2	11.1	15.8	4.3	7.4
年代											
60代	50.7	60.2	33.7	39.0	19.8	8.8	26.4	12.1	12.2	3.6	6.5
70代	47.5	56.2	28.5	36.2	22.5	12.7	26.7	19.5	13.0	6.4	9.3
性年代											
男性 60代	50.7	60.0	29.6	40.9	23.1	9.6	26.0	16.2	9.6	3.3	6.7
男性 70代	47.8	56.2	23.6	34.0	22.9	12.4	25.8	24.2	9.3	7.8	9.8
女性 60代	50.7	60.3	37.4	37.2	16.8	8.2	26.8	8.4	14.7	3.9	6.3
女性 70代	47.2	56.2	33.8	38.7	22.1	12.9	27.7	14.4	17.0	4.9	8.8
地域											
首都圏	48.7	61.7	32.7	36.3	22.5	14.3	27.7	16.2	14.2	5.8	8.0
東海圏	50.7	55.0	33.7	35.0	20.8	10.0	27.0	15.3	11.7	4.3	7.0
関西圏	48.2	58.2	27.2	41.7	20.0	7.7	25.0	15.5	12.0	4.7	8.5

◆行きたい観光旅行のタイプは、温泉、寺・神社・勝景地等の訪問、ご当地グルメがトップ3

国内宿泊旅行における行きたい観光旅行のタイプについて聞いたところ、「温泉でのんびり(78.2%)」が最も多く群を抜いており、「寺・神社・勝景地等の訪問(49.3%)」、「ご当地グルメを満喫(44.7%)」が次いでいる。

性別、年代別(60代・70代)の比較においては、性別では女性が男性よりも「四季の花めぐり」で13.8ポイント、「買い物旅行」で8.2ポイント高くなっているほか、男性が女性よりも「カメラ撮影旅行」で13.0ポイント高くなっているのが特徴としてあげられる。なかでも「カメラ撮影旅行」では、70代男性の率が高いのが特徴である。

■国内宿泊旅行の旅行目的

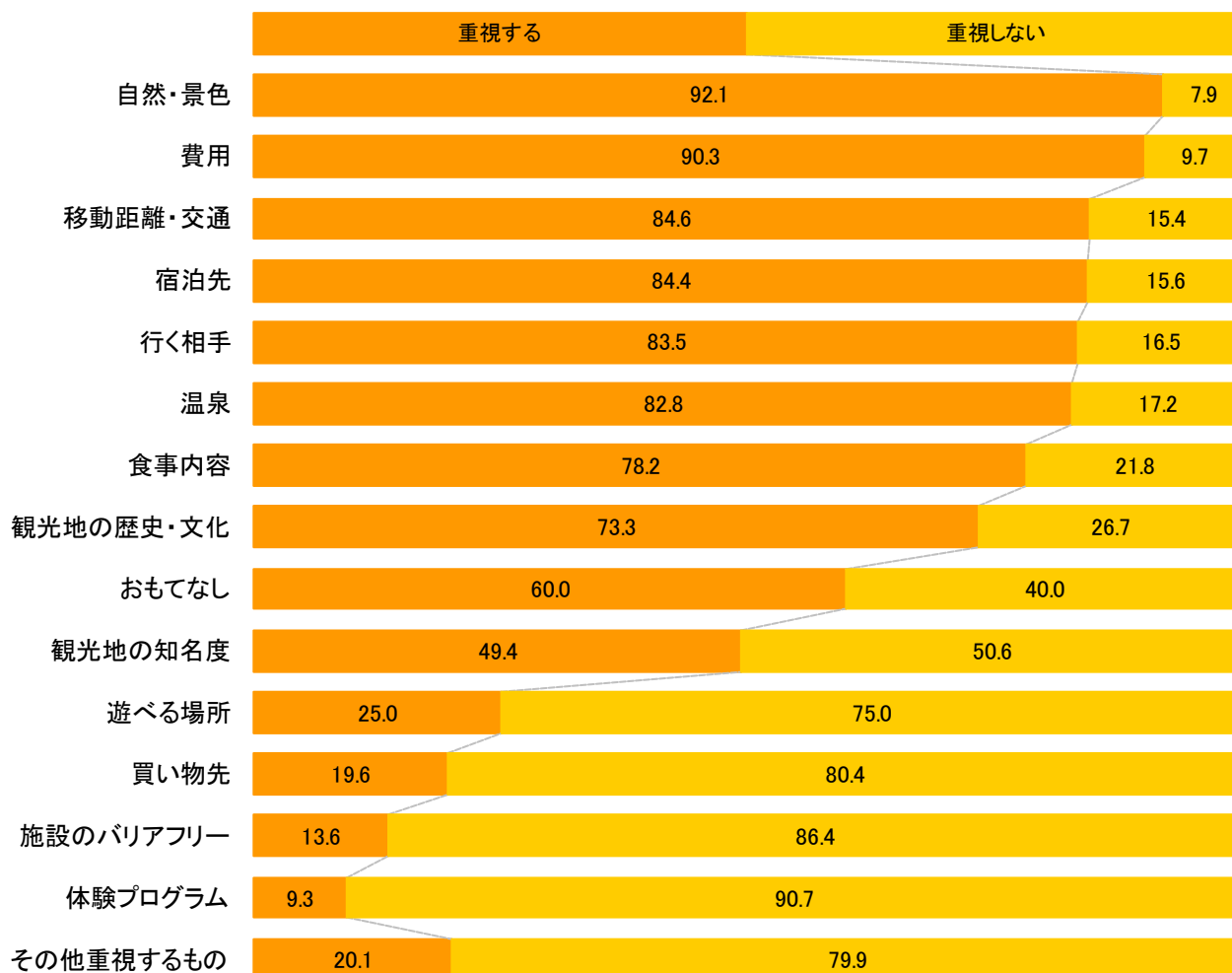


	温泉でのんびり	寺・神社・勝景地等の訪問	ご当地グルメを満喫	のんびり長期滞在	買い物旅行	四季の花めぐり	農山漁村滞在	里山・里海・離島など	町歩き	山歩き	サイクリング	体験(エコツアーリズム(自然))	カメラ撮影旅行	産業観光・工場見学	パワースポットめぐり	大都市観光	その他
全体	78.2	49.3	44.7	19.4	10.1	38.7	13.6	28.2	15.7	3.0	9.9	13.5	7.4	11.2	6.9	3.3	
性別																	
男性	78.4	52.3	43.2	18.0	6.0	31.8	15.4	27.9	16.3	4.0	8.3	20.0	8.2	10.0	6.4	3.3	
女性	77.9	46.2	46.2	20.8	14.2	45.6	11.8	28.6	15.0	2.0	11.6	7.0	6.7	12.3	7.4	3.2	
年代																	
60代	77.1	49.8	46.6	21.3	10.8	37.1	11.7	30.1	16.8	4.3	9.7	10.0	8.0	11.8	8.2	3.6	
70代	79.3	48.7	42.6	17.3	9.4	40.4	15.7	26.1	14.4	1.6	10.2	17.3	6.9	10.5	5.6	2.9	
性年代																	
男性 60代	76.4	49.8	44.9	19.8	7.6	30.0	11.8	28.7	16.7	6.0	7.1	15.3	8.0	10.4	7.8	3.8	
男性 70代	80.4	54.9	41.6	16.2	4.4	33.6	19.1	27.1	16.0	2.0	9.6	24.7	8.4	9.6	5.1	2.9	
女性 60代	77.7	49.9	48.3	22.7	13.7	43.6	11.7	31.5	17.0	2.7	12.1	5.1	8.0	13.1	8.6	3.5	
女性 70代	78.1	41.8	43.8	18.5	14.8	47.9	11.9	25.1	12.7	1.2	10.9	9.2	5.1	11.4	6.1	2.9	
地域																	
首都圏	75.2	52.0	43.5	23.0	9.7	41.5	15.3	30.2	17.2	3.3	11.3	12.3	7.0	10.3	6.5	3.8	
東海圏	78.5	49.8	44.3	18.8	10.7	38.3	11.8	28.2	14.7	2.8	8.8	14.5	9.0	11.5	7.3	2.7	
関西圏	80.8	46.0	46.3	16.3	10.0	36.2	13.7	26.3	15.2	2.8	9.7	13.7	6.3	11.7	7.0	3.3	

◆旅行の行き先決定に重視する項目は、自然・景色、費用、移動距離・交通がトップ3

国内宿泊旅行の行き先決定に重視する項目について聞いたところ、「自然・景色(92.1%)」が最も多く、「費用(90.3%)」、「移動距離・交通(84.6%)」と続く。以下、「宿泊先」、「行く相手」、「温泉」が80%を超える重要項目となっている。

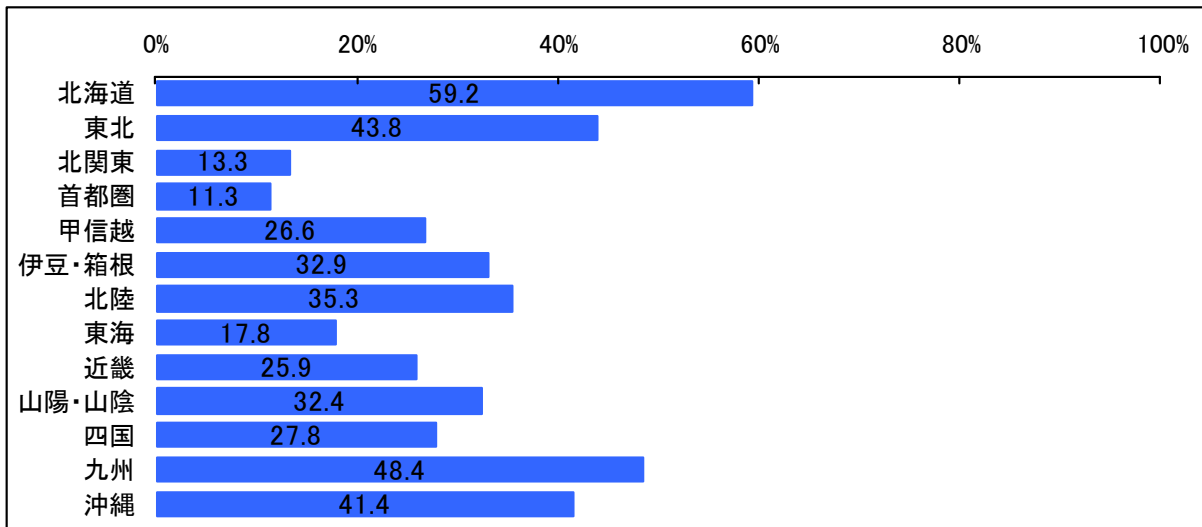
■国内宿泊旅行の行き先決定に重視する項目



◆どの地域からも、「行きたい国内旅行先」のトップ5は、北海道、九州、東北、沖縄、北陸

国内宿泊旅行における行きたい旅行先について聞いたところ、全体では「北海道(59.2%)」が最も多く、「九州(48.4%)」、「東北(43.8%)」、「沖縄(41.4%)」、「北陸(35.3%)」と続く。この順位は首都圏、東海圏、関西圏すべて同じ順位であり、現在の潜在需要と期待できる人気観光地の順位と考えられる。地域別の傾向では、首都圏における「北陸」への意向が東海圏よりも6.7ポイント、関西圏よりも8.8ポイント高くなっている点が注目される。これは、北陸新幹線開業による意向の高まりであるものと推測される。

■行きたい国内旅行先

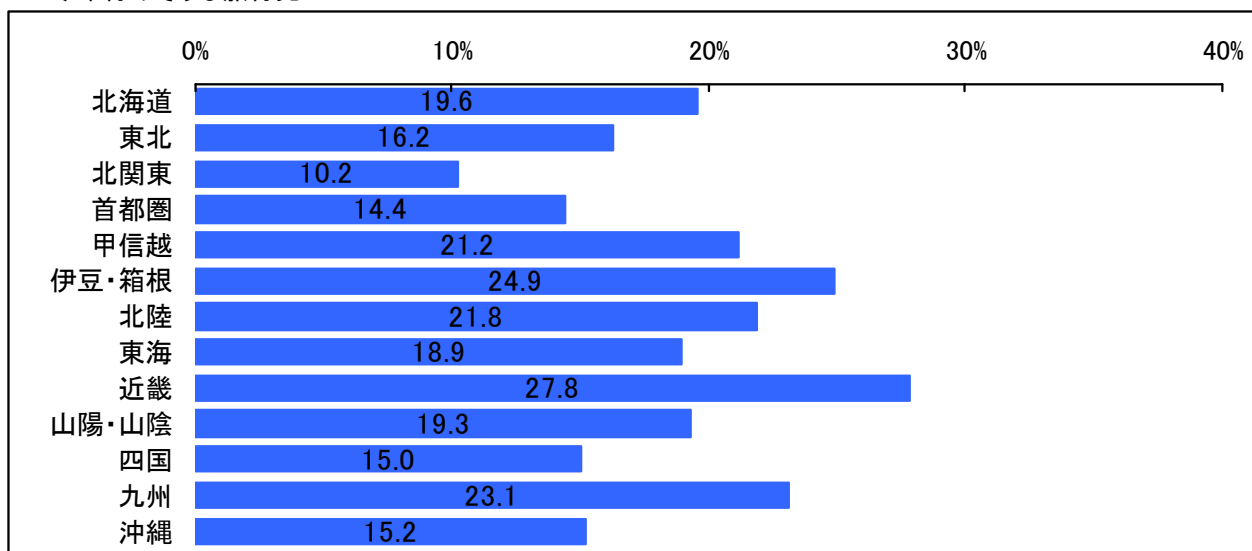


	北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越	伊豆・箱根	北陸	東海	近畿	山陽・山陰	四国	九州	沖縄	
全体	59.2	43.8	13.3	11.3	26.6	32.9	35.3	17.8	25.9	32.4	27.8	48.4	41.4	
性別	男性	60.9	46.4	14.8	9.2	30.4	31.0	37.0	18.6	26.8	32.3	30.3	49.1	42.0
	女性	57.6	41.2	11.8	13.4	22.8	34.8	33.7	17.0	25.0	32.4	25.2	47.7	40.8
年代	60代	63.9	42.6	14.2	13.1	24.6	32.6	33.5	17.6	27.1	33.1	30.1	52.1	45.4
	70代	54.1	45.2	12.3	9.4	28.8	33.2	37.3	18.0	24.6	31.6	25.2	44.4	37.0
性年代	男性 60代	66.2	45.3	15.3	10.4	26.9	29.8	35.6	18.2	27.3	31.1	32.7	54.2	46.9
	男性 70代	55.6	47.6	14.2	8.0	34.0	32.2	38.4	18.9	26.2	33.6	28.0	44.0	37.1
	女性 60代	61.8	40.1	13.1	15.5	22.5	35.2	31.7	17.0	26.8	35.0	27.8	50.1	44.0
	女性 70代	52.6	42.6	10.2	10.9	23.1	34.3	36.0	17.0	22.9	29.4	22.1	44.8	37.0
地域	首都圏	59.2	43.7	18.0	5.8	30.2	36.7	40.5	19.8	30.8	36.7	29.5	44.2	41.8
	東海圏	59.5	45.5	10.3	13.3	25.8	31.5	33.8	20.7	24.8	30.3	27.5	47.8	44.0
	関西圏	59.0	42.3	11.5	14.8	23.8	30.5	31.7	12.8	22.0	30.2	26.3	53.2	38.3

◆今年行けそうな国内旅行先は、首都圏では伊豆・箱根、東海圏では東海、関西圏では近畿がトップ

「行きたい旅行先」に対し、現実的に「今年行けそうな国内旅行先」について聞いたところ、全体的に行きたい旅行先よりも率は下がり、「近畿(27.8%)」が最も多く、「伊豆・箱根(24.9%)」、「九州(23.1%)」と続く。地域別では特徴が出ており、首都圏においては「伊豆・箱根」、「甲信越」、「北関東」、「東北」が、東海圏においては「東海」、関西圏においては「近畿」、「山陽・山陰」、「四国」などが他地域よりも多くなっており、地元周辺地域への旅行が現実的な旅行先となっている。

■今年行けそうな旅行先

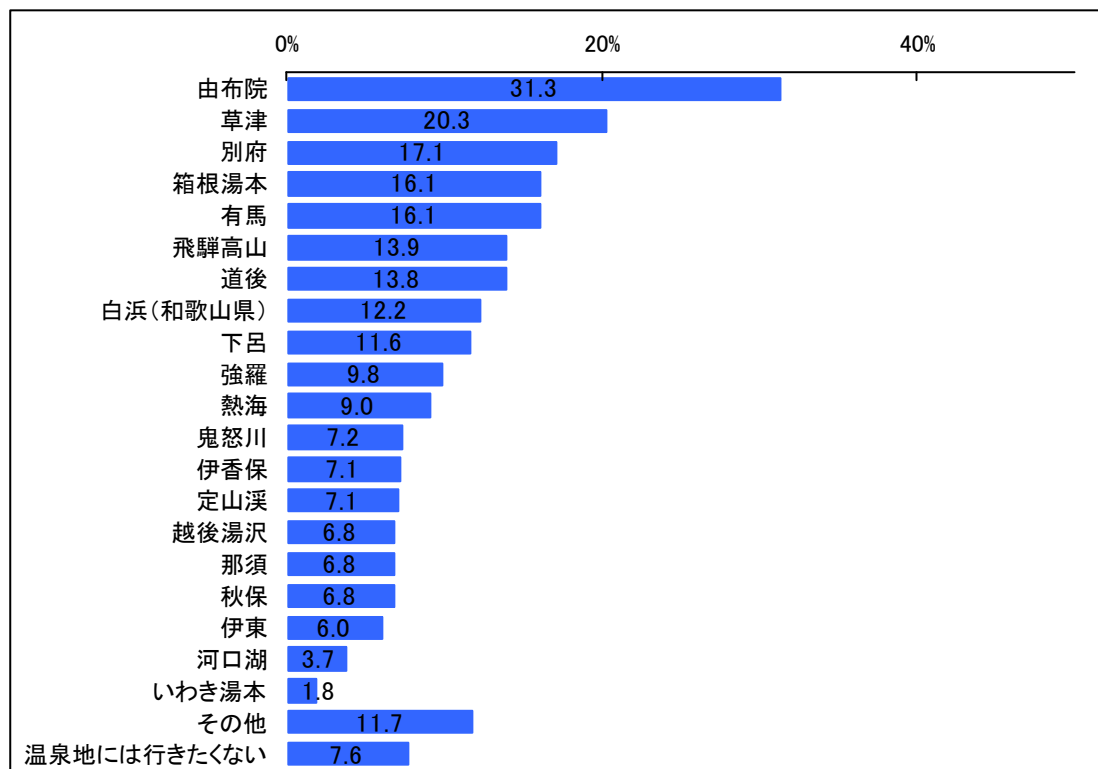


	北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越	伊豆・箱根	北陸	東海	近畿	山陽・山陰	四国	九州	沖縄
全体	19.6	16.2	10.2	14.4	21.2	24.9	21.8	18.9	27.8	19.3	15.0	23.1	15.2
性別	男性	20.8	18.8	11.1	14.1	22.8	25.2	25.0	27.8	18.7	17.1	23.9	13.9
	女性	18.3	13.7	9.2	14.7	19.6	24.6	18.7	27.8	19.9	12.9	22.2	16.4
年代	60代	22.7	16.6	9.6	15.7	19.0	22.2	21.3	28.1	19.6	15.1	24.8	17.9
	70代	16.1	15.8	10.8	13.0	23.6	27.9	22.4	27.4	18.9	14.9	21.1	12.2
性年代	男性 60代	26.2	20.9	10.2	13.6	20.4	22.9	24.0	28.7	18.4	16.4	26.0	16.9
	男性 70代	15.3	16.7	12.0	14.7	25.1	27.6	26.0	26.9	18.9	17.8	21.8	10.9
	女性 60代	19.4	12.7	9.0	17.6	17.6	21.5	18.8	27.6	20.7	13.9	23.7	18.8
	女性 70代	17.0	14.8	9.5	11.2	21.9	28.2	18.5	28.0	19.0	11.7	20.4	13.6
地域	首都圏	22.7	24.0	19.8	10.2	27.7	37.2	22.3	25.0	16.7	11.3	21.8	14.5
	東海圏	18.5	12.7	6.0	15.7	21.3	24.2	22.2	27.7	15.3	12.5	19.2	14.5
	関西圏	17.5	12.0	4.7	17.3	14.5	13.3	21.0	11.7	30.8	25.8	21.2	16.5

◆行きたい温泉地は、由布院(大分県)が3地域ともにトップ。全体では草津が2位、別府が3位

「行きたい温泉地」について国内の代表的な温泉地を選択肢として聞いたところ、「由布院(31.3%)」が最も多く、「草津(20.3%)」、「別府(17.1%)」、「箱根湯本(16.1%)」、「有馬(16.1%)」(同率)と続く。地域別では「由布院」が各地域でトップであり、首都圏の2位が「草津」、3位が「箱根湯本」、東海圏の2位が「草津」、3位が「別府」、関西圏の2位・3位が同率で「有馬」、「別府」となっている。

■行きたい温泉地

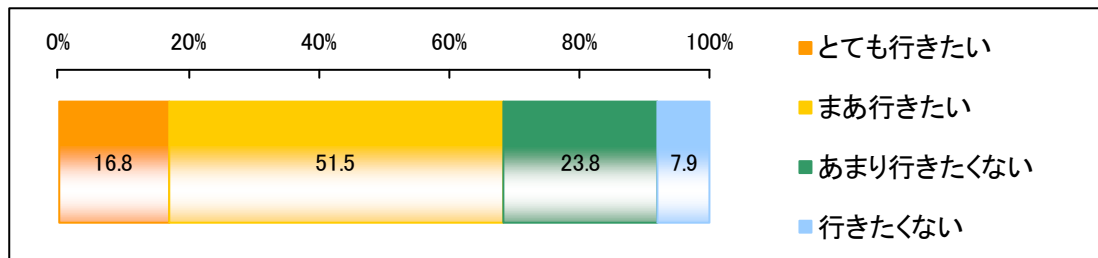


	熱海	別府	那須	白浜(和歌山県)	伊東	草津	鬼怒川	道後	秋保	強羅	箱根湯本	由布院	下呂	伊香保	有馬	飛騨高山	定山溪	越後湯沢	河口湖	いわき湯本	その他	温泉地には行きたくない	
全体	9.0	17.1	6.8	12.2	6.0	20.3	7.2	13.8	6.8	9.8	16.1	31.3	11.6	7.1	16.1	13.9	7.1	6.8	3.7	1.8	11.7	7.6	
性別	男性	9.2	18.0	6.7	11.1	7.4	20.0	8.0	14.8	7.2	10.3	15.3	29.9	13.1	6.9	14.3	14.2	7.7	6.0	3.7	1.8	14.0	7.4
	女性	8.8	16.2	6.9	13.3	4.6	20.6	6.4	12.9	6.3	9.3	16.9	32.7	10.1	7.3	17.8	13.6	6.4	7.6	3.8	1.8	9.4	7.8
年代	60代	8.7	19.2	6.1	11.0	4.3	20.3	6.4	16.0	5.1	8.4	15.8	33.7	11.1	7.8	15.3	13.2	7.0	5.2	3.4	1.6	12.7	7.9
	70代	9.3	14.9	7.5	13.6	7.9	20.2	8.1	11.5	8.6	11.4	16.5	28.7	12.2	6.4	16.8	14.6	7.1	8.5	4.1	2.0	10.7	7.3
性年代	男性 60代	9.1	21.1	5.3	10.7	5.1	21.6	6.7	16.4	5.3	7.3	16.0	31.1	11.1	6.0	14.4	14.7	8.7	3.8	3.3	1.3	14.7	8.0
	男性 70代	9.3	14.9	8.0	11.6	9.8	18.4	9.3	13.1	9.1	13.3	14.7	28.7	15.1	7.8	14.2	13.8	6.7	8.2	4.0	2.2	13.3	6.9
	女性 60代	8.4	17.4	6.7	11.2	3.5	19.2	6.1	15.5	4.9	9.4	15.5	36.0	11.0	9.4	16.2	11.9	5.5	6.5	3.5	1.8	10.8	7.8
	女性 70代	9.2	14.8	7.1	15.8	5.8	22.1	6.8	9.7	8.0	9.2	18.5	28.7	9.0	4.9	19.7	15.6	7.5	8.8	4.1	1.7	7.8	7.8
地域	首都圏	10.3	15.2	8.8	10.0	8.2	23.2	7.8	11.2	8.7	12.8	19.3	29.2	8.2	8.0	14.3	12.2	7.2	4.8	4.2	2.2	12.0	10.0
	東海圏	8.3	17.8	6.8	10.3	6.2	21.0	8.0	13.3	6.8	10.3	14.0	30.8	15.3	7.2	15.5	14.8	6.5	6.7	4.2	2.2	12.0	5.3
	関西圏	8.3	18.3	4.7	16.3	3.7	16.7	5.8	17.0	4.8	6.3	15.0	33.8	11.3	6.2	18.3	14.7	7.5	8.8	4.3	1.3	11.2	7.5

◆首都圏の8割以上が、北陸新幹線利用する旅行を希望(全体でも68.3%が希望)

3月14日に金沢・富山～東京間の開業を迎える北陸新幹線を使った旅行について聞いたところ、全体では「とても行きたい(16.8%)」、「まあ行きたい(51.5%)」の合計68.3%が旅行意向を示している。地域別では、首都圏が他地域よりも圧倒的に多く、「とても行きたい(28.2%)」と「まあ行きたい(55.3%)」を合計すると83.5%の人が北陸新幹線を使っての旅行意向を示している。また、東海圏でも54.8%、関西圏でも66.5%と半数以上の人が意向を示している点も注目される。

■北陸新幹線を使っての旅行意向

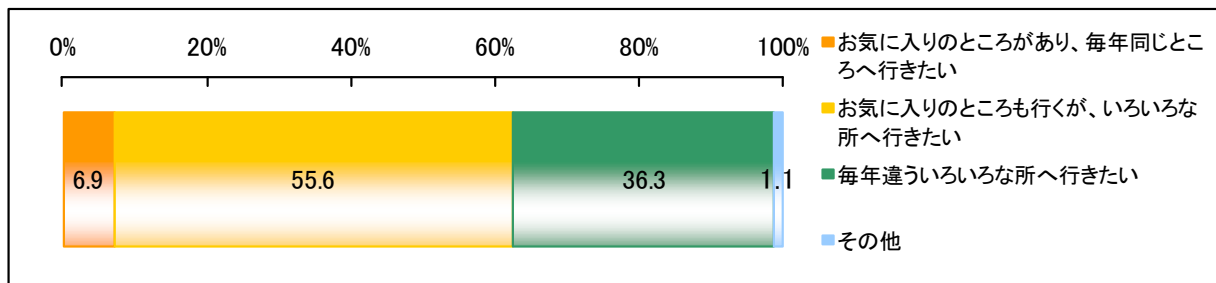


		とても行きたい	まあ行きたい	あまり行きたくない	行きたくない
全体		16.8	51.5	23.8	7.9
性別	男性	14.8	48.3	26.0	10.9
	女性	18.8	54.7	21.6	5.0
年代	60代	16.0	51.4	24.5	8.1
	70代	17.7	51.6	23.0	7.8
性年代	男性 60代	15.1	47.1	26.7	11.1
	男性 70代	14.4	49.6	25.3	10.7
	女性 60代	16.8	55.4	22.5	5.3
	女性 70代	21.2	53.8	20.4	4.6
地域	首都圏	28.2	55.3	14.0	2.5
	東海圏	10.0	44.8	34.0	11.2
	関西圏	12.2	54.3	23.3	10.2

◆国内宿泊旅行先を選ぶ考えとしては「お気に入りのところもいくが、いろいろな所へ行きたい」が約半数

国内宿泊旅行先を選ぶ考えについて聞いたところ、「お気に入りのところも行くが、いろいろな所へ行きたい(55.6%)」が半数以上となっている。

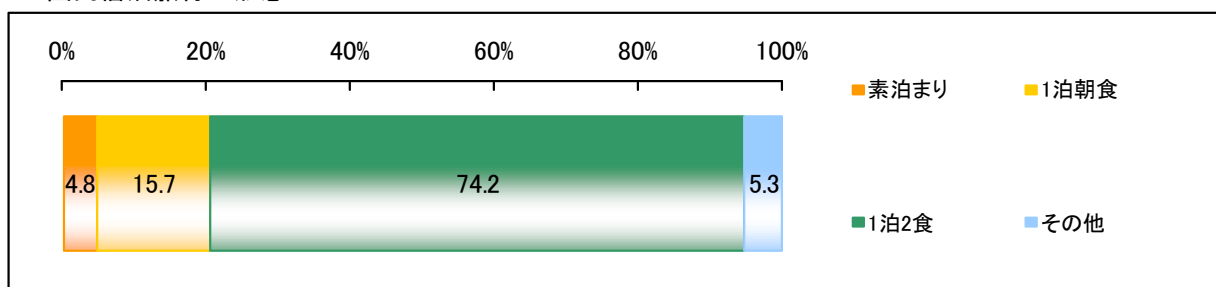
■国内宿泊旅行先を選ぶ考え



◆宿泊の形態は「1泊2食」が74.2%

実際に旅行した宿泊形態について聞いたところ、「1泊2食(74.2%)」が最も多くなっている。

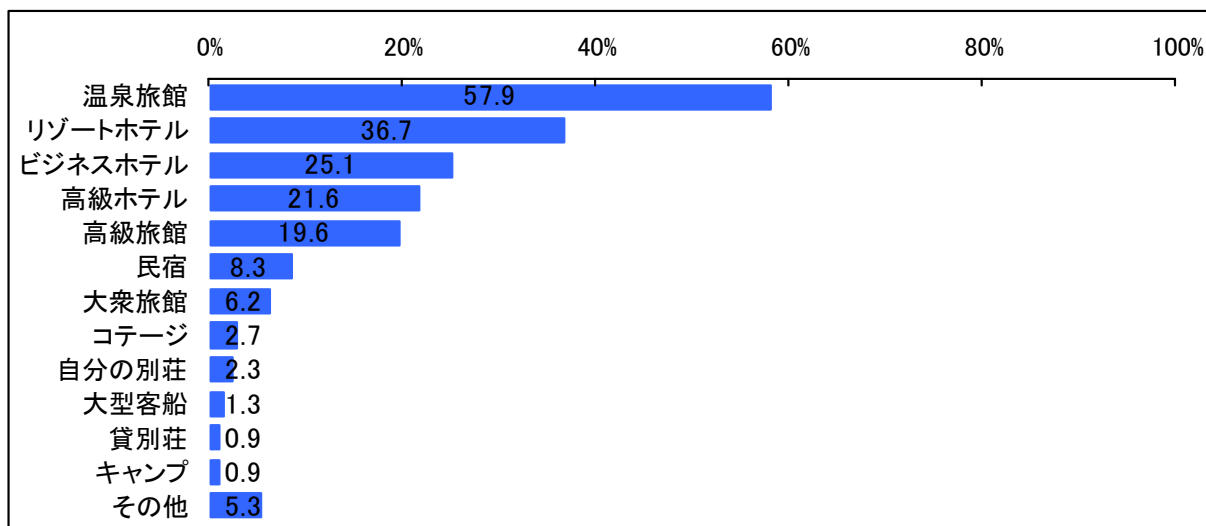
■国内宿泊旅行の形態



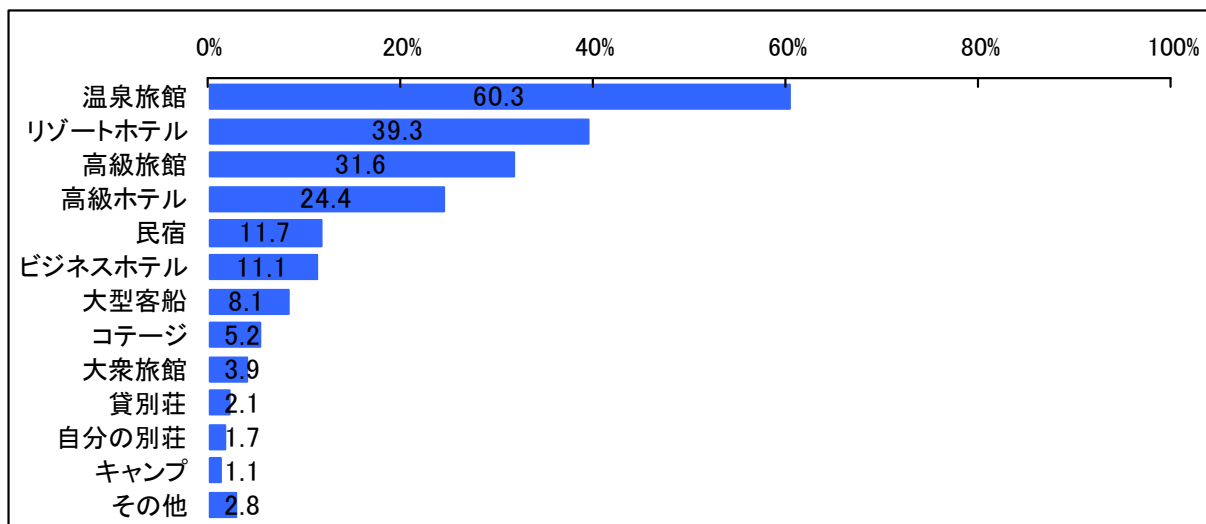
◆実際に泊まった宿泊施設も、今後泊まりたい宿泊施設も温泉旅館がトップ

国内宿泊旅行において実際に泊まった宿泊施設タイプと泊まりたい宿泊施設タイプについて聞いたところ、実際に泊まった宿泊施設では、「温泉旅館(57.9%)」がトップで、次いで「リゾートホテル(36.7%)」が2位、「ビジネスホテル(25.1%)」が3位と続く。一方、泊まってみたい宿泊施設タイプでは、「温泉旅館(60.3%)」、「リゾートホテル(39.3%)」と2位までは実際に泊まった施設と同順位であるが、3位が「高級旅館(31.6%)」と、実際に泊まった率と比べても12ポイント高くなっていることから、現実と比べて高級旅館への希望が高いことがわかる。

■昨年、国内宿泊旅行で泊まった宿のタイプ



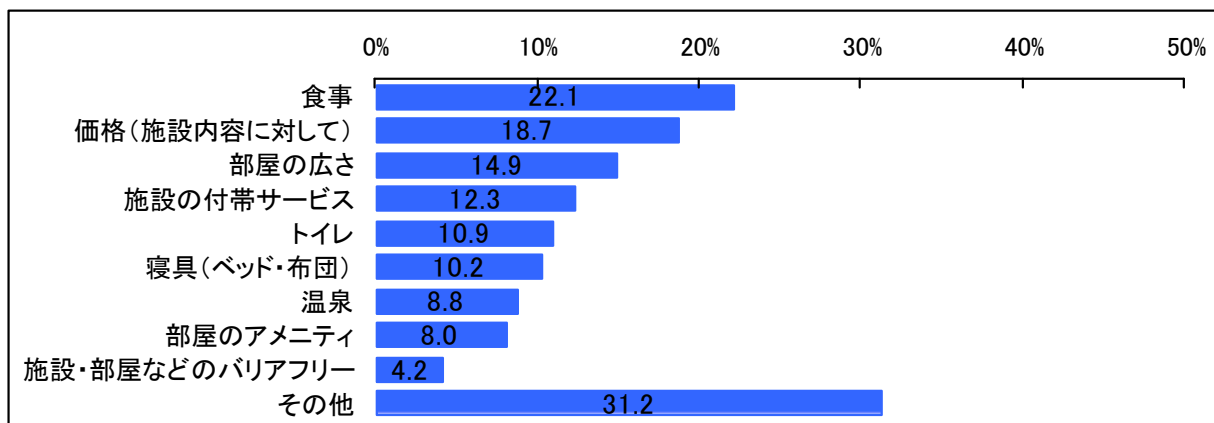
■今年、国内宿泊旅行で泊まってみたい宿のタイプ



◆宿泊旅行の際の不満の事項では、「食事」がトップ

国内宿泊旅行における不満事項について聞いたところ、「食事(22.1%)」が最も多く、「価格(18.7%)」、「部屋の広さ(14.9%)」が続く。

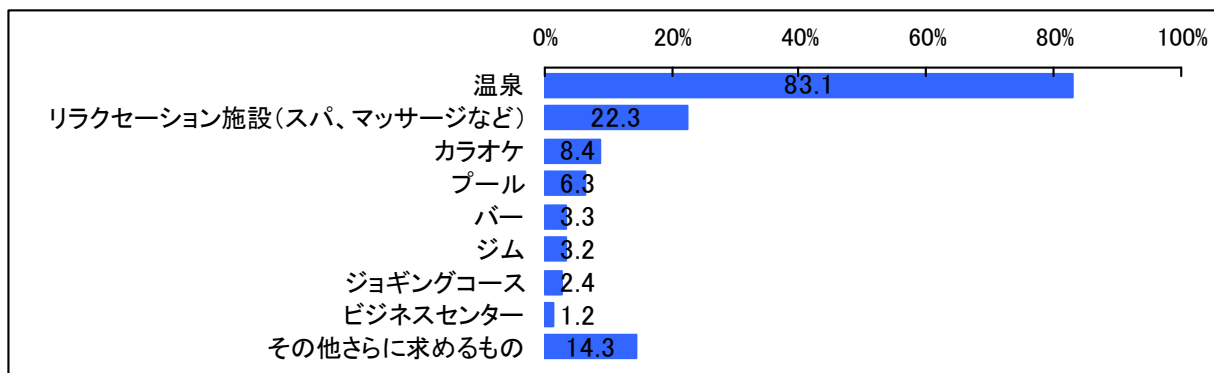
■国内宿泊旅行における不満



◆宿泊施設に求めるサービス・おもてなしでは、「温泉」が圧倒的多数

宿泊施設に求めるサービス・おもてなしについては、「温泉(83.1%)」が圧倒的に高くなっている。

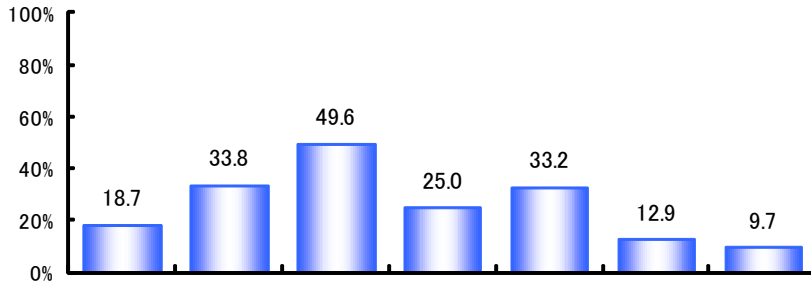
■宿泊施設に求めるサービス・おもてなし



◆宿泊の手配は、宿泊予約サイトがトップ、2位が旅行会社の旅行商品をネットで購入

旅行の手配方法について聞いたところ、「宿泊は宿泊予約サイトで手配(49.6%)」が最も高く、「旅行会社の旅行商品をネットで購入(33.8%)」、「宿泊は宿泊先の予約サイトで手配(33.2%)」と続く。

■旅行の手配方法

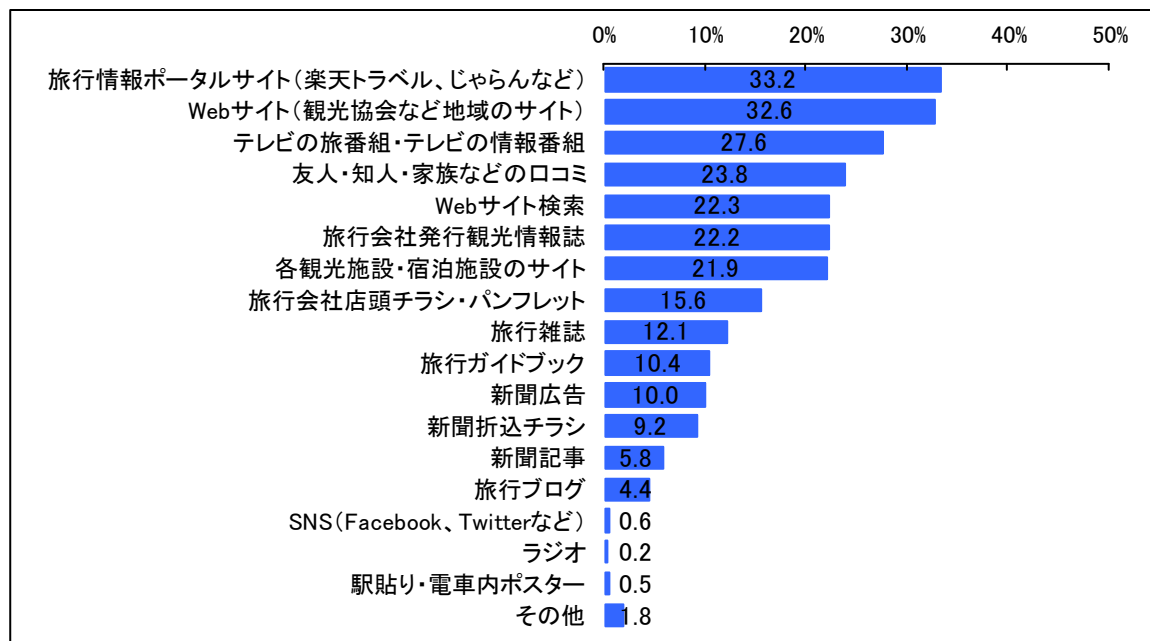


店頭で購入	旅行会社の旅行商品を	ネットで購入	旅行会社の旅行商品を	ル、手配は予約サイト	で宿泊は予約サイト	宿泊は宿泊先に電話で	手配	宿泊は宿泊先の予約サ	イトで手配	宿泊は宿泊先の予約サ	鉄道などで交通の手配は	その他
-------	------------	--------	------------	------------	-----------	------------	----	------------	-------	------------	-------------	-----

◆旅行情報入手先は、旅行ポータルサイト、Web サイト(観光協会など)、テレビ番組がトップ 3

旅行情報入手先について聞いたところ、「旅行情報ポータルサイト(楽天トラベル、じゃらんなど) (33.2%)」が最も高く、「Web サイト(観光協会など地域のサイト) (32.6%)」、「テレビの旅番組・テレビの情報番組 (27.6%)」と続く。

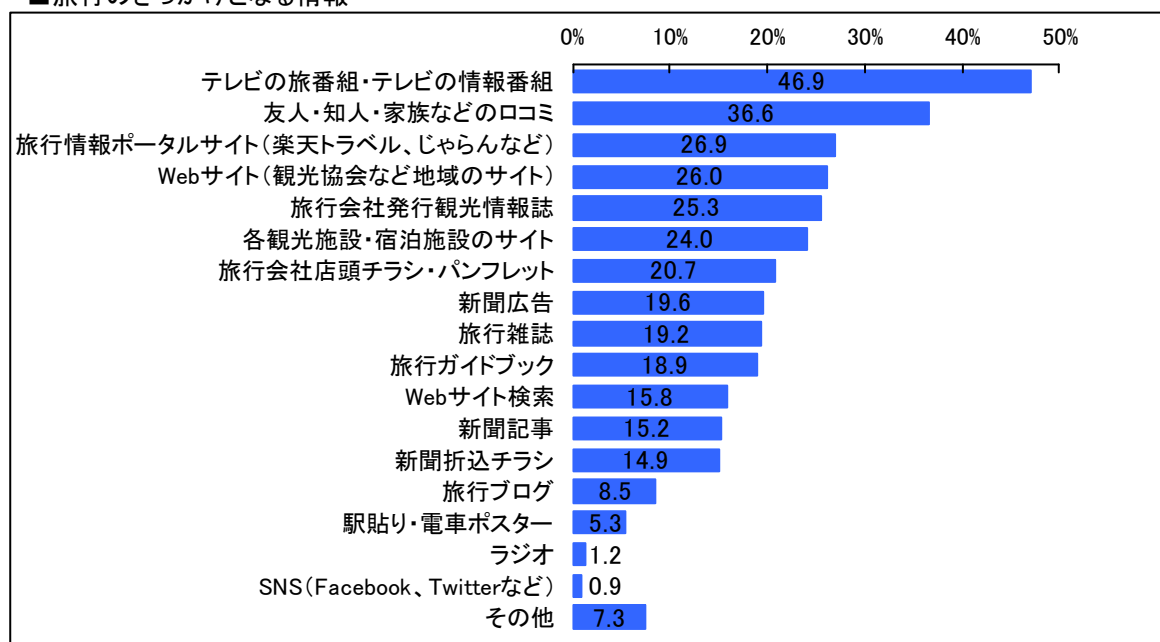
■旅行情報入手先



◆旅行へのきっかけは、テレビ番組、口コミ、旅行情報ポータルサイトがトップ 3

旅行へのきっかけとなる情報について聞いたところ、「テレビの旅番組・テレビの情報番組 (46.9%)」が最も高く、次に「友人・知人・家族などの口コミ (36.6%)」が「旅行情報ポータルサイト(楽天トラベル、じゃらんなど) (26.9%)」と続き、情報入手先と比べると実際の旅行行動につながるきっかけとしては、テレビや口コミが高くなっていることがわかる。

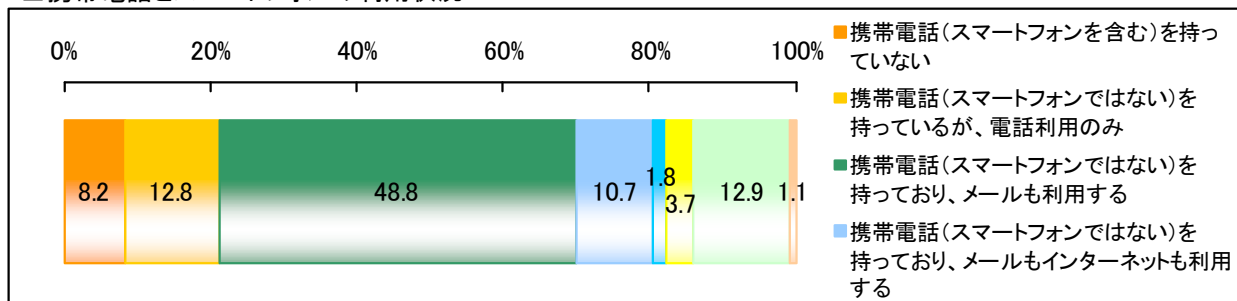
■旅行のきっかけとなる情報



◆スマートフォンを所有し、ネットも活用する人は 12.9%

スマートフォンの所有、またその利用内容について聞いたところ、スマートフォン所有者は合計で18.4%で、「スマートフォンを持っており、メール、LINE、インターネットも活用する」人は12.9%となっている。

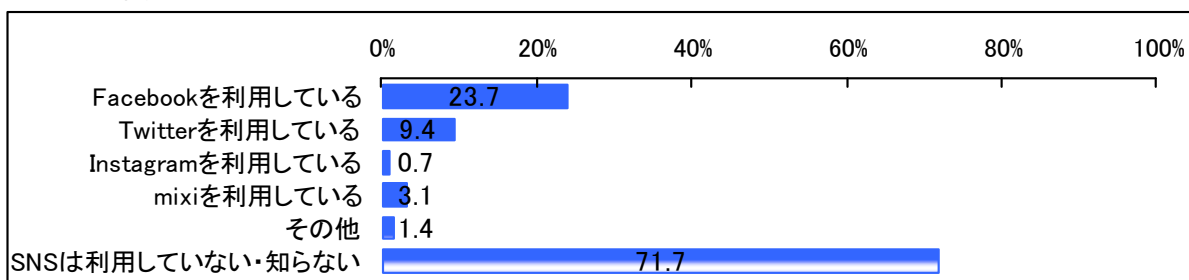
■携帯電話とスマートフォンの利用状況



◆SNS利用者は約3割でFacebookが最も多い利用率

SNS(ソーシャルネットサービス)の利用者は、Facebook、twitterなどを含め28.3%(利用していない人から逆算)で、そのうちFacebook利用者が最も高い。また、それらのフォロワー数は100未満が圧倒的に多い。

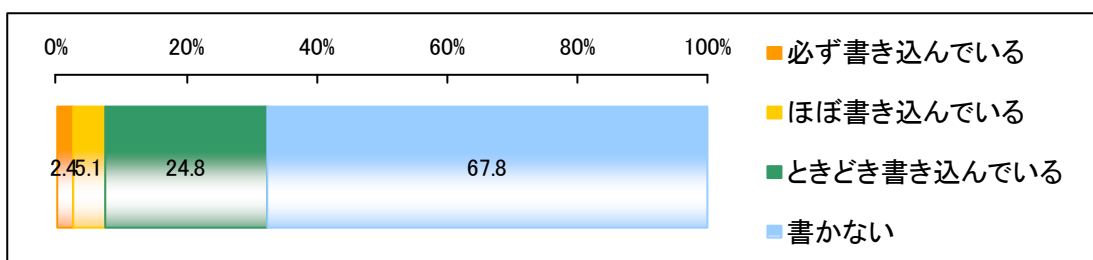
■SNSの利用



■SNSのフォロワー数



■SNSの書き込みについて



－ ご利用に際して－

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。